

歴博 くらしの植物苑だより

第126回くらしの植物苑観察会 9月26日(土)

東海道の名物 食べ物と土産

山本 光正(当館歴史研究系)

旅の楽しみの一つは各地の名物を食べたり土産を買ったりすることである。

江戸時代の街道、特に交通量の多かった東海道にはさまざまな名物があった。東海道の名物には、日坂宿の蕨餅のように江戸時代以前から名物として知られているものもあった。

食べる名物の多くは山や峠、川の近くにあった。それは難所を越えた時、茶屋でひと休みをし、小腹を満たすためであった。名物に甘いものが多かったのも体が糖分を求めたからであろう。

箱根細工をはじめとする木工品やういろう・和中散などは旅の土産になったが、食べる名物は旅人が食べるものであり、土産には適さなかった。

近代に至り交通機関の発達に伴い、江戸時代の名物がもとになって、食物も土産になっていった。そこには容器を改良するなどの工夫があった。

近代以降の旅行において、旅行者が車中で空腹を満たしたものが駅弁である。駅弁も個性豊かなものとなり、今では立派な名物の一つになっている。

新板東海道分間絵図

宿場	名物
江戸 品川	
品川 川崎	品川海苔 大森和中散 麦藁細工
川崎 神奈川	奈良茶 鶴見米饅頭
神奈川 保土ヶ谷	本覚寺の黒薬
保土ヶ谷 戸塚	
藤沢 平塚	
平塚 大磯	
大磯 小田原	
小田原 箱根	小田原名物外郎 粕漬の梅 ちょうちん 箱根路の木地引物細工 甘酒 箱根名物赤腹魚

箱根	三島	
三島	沼津	
沼津	原	かぬきといふ瓜茄子早く出る
原	吉原	(うき島カ原の)うなぎ
吉原	蒲原	くりのこもち
蒲原	由比	
由比	興津	(くらさわの)竜王たばこ
		(くらさわの)さゞいつばやき
興津	江尻	かうやくそば切
		ほうしん丹
江尻	府中	
府中	丸子	あべ川もち
丸子	岡部	とろ汁
		十団子
岡部	藤枝	
藤枝	島田	脇差のさや(川原町)
		鮫
		瀬戸の染飯
		せんべや
島田	金谷	
金谷	日坂	なめし田楽
		矢の根鍛冶
		水飴
日坂	掛川	蕨餅
掛川	袋井	くず布
		あい鮫
		さしたび
		さい田ぬい模様
		木綿手拭
袋井	見付	
見付	浜松	そば切
		なが森の膏薬
浜松	舞坂	
舞坂	新居	
新居	白須賀	浜名納豆
白須賀	二川	猿馬場の柏餅
二川	吉田	
吉田	御油	火口
		こざかいたばこ
		りょうこうさん(薬)(茶屋町)
御油	赤坂	
赤坂	藤川	



藤川 岡崎
 岡崎 池鯉鮒
 池鯉鮒 鳴海

鳴海 熱田
 熱田 桑名
 桑名 四日市

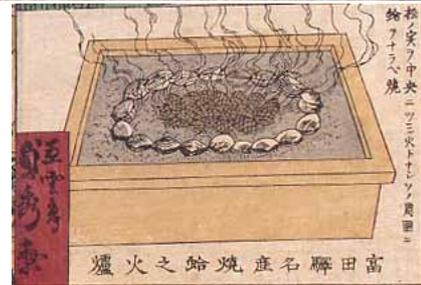
銘酒屋(今岡)
 あの西瓜
 絞り染め(有松)



四日市 石薬師

石薬師 庄野
 庄野 亀山
 亀山 関
 関 坂下

蛤
 白魚
 焼蛤(おぶけ)
 焼蛤・奈良漬・香の物(東富田)
 饅頭(日永追分)
 饅頭(杖衝村立バ)



坂下 土山
 土山 水口
 水口 石部

俵焼米
 火縄
 南禅寺豆腐
 銘酒(田村川)
 きせる
 藤こり
 どぢょう
 白菊名酒(いづみ)
 梅川名酒・心太(夏見)

石部 草津
 草津 大津
 大津

和中散・艾(梅の木)
 菜めし田楽(目川)
 姥が餅
 うなぎ・しじみ(瀬田)
 池のかは針
 大津絵
 算盤
 走井の水(大谷)



次回予告 第127回くらしの植物苑観察会 2009年10月24日(土)
 「江戸時代のバラ」 御巫 由紀(千葉県立中央博物館)
 13:30~15:30(予定) 苑内休憩所集合 申込不要 要入苑料